



平成 21 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 日本開閉器工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大橋 智成  
( J A S D A Q ・ コード 6943 )  
問合せ先  
役職・氏名 取締役 市川 忠夫  
電話 0 4 4 - 8 1 3 - 8 0 2 6

## 平成 21 年 3 月期通期（連結・単独）業績予想の修正、特別損失の発生及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 11 月 7 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を修正するとともに、特別損失の発生を下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 21 年 3 月 9 日開催の取締役会において、平成 20 年 11 月 7 日付当社「平成 21 年 3 月期配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました当期末の配当予想につきまして、修正することを決議いたしましたので、合せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期 通期業績予想値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

##### (1) 連結

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	7, 6 9 6	8 0	1 2 5	4 7
今回修正 (B)	6, 5 9 2	△ 6 3 3	△ 5 3 9	△ 9 6 7
増減額 (B - A)	△ 1, 1 0 4	△ 7 1 3	△ 6 6 4	△ 1, 0 1 4
増 減 率	△ 1 4. 3 %	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	8, 8 0 2	4 8 2	4 1 6	1 4 1

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	6,503	71	105	28
今回修正 (B)	5,562	△554	△514	△1,052
増減額 (B-A)	△941	△625	△619	△1,080
増減率	△14.5%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	7,339	426	507	205

(3) 修正の理由

世界的な景気悪化の進行に伴う、産業用スイッチ市場の急速な一段の市場規模の減少を受けて、本通期の業績予想の修正を行うものであります。

産業用スイッチ市場の国内市場出荷総額は第2四半期末までは前年同期比1.3%減で推移していましたが、第3四半期及び第4四半期の市場規模がそれぞれ前年同期比19.2%減、40.5%減と時間の経過とともに急速に縮小幅が拡大しております。

一方、当社グループの第2四半期末における通期業績予想の修正は、第2四半期と同等の市場動向を前提に策定し、固定費削減は計画通り行われたものの、第3四半期及び第4四半期の受注の減少額が当初の想定をはるかに上回り、こうした市況の悪化を補うことが不可能となったことを受けて本修正を行うものであります。

この結果、連結につきましては連結売上高6,592百万円、営業損失633百万円、経常損失539百万円、当期純損失967百万円と予想しております。

また、個別につきましても連結売上高5,562百万円、営業損失554百万円、経常損失514百万円、当期純損失1,052百万円と予想しております。

2. 平成21年3月期特別損失の発生

特別損失には子会社の生産設備の再編・集約に伴う構造改革費用(210百万円)、また、繰延税金資産の取崩(274百万円)をそれぞれ見込んでおります。

3. 平成21年3月期配当予想の修正

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題と位置づけており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開等を勘案して安定的な配当の継続を基本方針としております。

しかしながら、当期の期末配当につきましては、上記業績予想の修正のとおり、個別の当期純利益が前回予想より下方修正することが見込まれることや今後の厳しい経営環境に対応するため、誠に遺憾ではございますが、1株当たり0円(前回予想5円)に修正させていただきます。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	年間
前回予想 (平成20年11月7日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 9.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	4.00
当期実績	—	4.00	—	—	—
前期(平成20年3月期)実績	—	5.00	—	5.00	10.00

以上